

中高生冬期プレ無料講習のご案内

1-Day Winter Program

英語学習の正しい考え方を知っていただくために、冬期講習に先立ち無料一日講習を開講します。受講料は不要ですが、事前登録が必須となります。下記の申込方法に従ってお手続きください。在籍の有無を問わず、該当の学年であればどなたでも受講していただけます。

■ オールイングリッシュで学ぶ関係代名詞 12/10(水) 18:00~20:00

中学英語最大のトラブルスポットとも言われる関係代名詞。それが日本語を使わなければこんなに容易に使いこなせるのです。コツは日本語に置き換えて考えようとしないこと。日本語に存在しないものを無理やり日本語に置き換えるとするからむずかしくなるのです。最大の問題は英語が語順通りに理解できなくなること。リスニングが苦手で長文が読めない。英文を組み立てようとしても少し長くなると文構造が破綻する。そういう場合、大抵の原因はここにあります。そうならないためには、正しいアタマの使い方を身につけることが何より大切です。それ自体は決して難しいことではありません。論より証拠、疑問詞との共通性を利用して、その働きを見たまま聞いたままに受け入れてしまえば、あらら、何と簡単！やってみれば分かります。それでも難しそうだというあ・な・た！「日本語に直さなければ英語を理解できない」と思い込んでいませんか？だまされたつもりでも構いません。その思い込みを捨てましょう。あとは慣れるだけです。<中1以上>

■ こう読めば英語長文問題が解ける！ 12/14(日) 14:00~16:00

長文には読み方があります。単語を一つずつ日本語に置き換えそれをつなぎ合わせて訳文をつくり、その訳文をつなぎ合わせて文章にし…もしこういう読み方をしていて、それが英文解釈だと思っているなら、今すぐに止めましょう。それこそが2重3重の意味で、長文が読めない原因となっているからです。英語を耳で聞く時に、単語を一つ一つ日本語に置き換えて理解することが出来ますか？長文の読み方はリスニングと同じ。これを直読直解といいます。一語一句を日本語に置き換える読み方は「木を見て森を見ない」典型です。一本一本の木の状態が森全体の成り立ちと密接に関わるよう、一つ一つの文も、それを構成する単語の意味さえも、文脈という文章全体の成り立ちに深く依存しています。木を見て森を見ない読み方は、本人は理解したつもりでも、書き手の意図とかけ離れた誤読の原因となるだけでなく、常態化すると知らない単語が一つあるだけでパニックに陥り、分かることさえ分からないという最悪の結果を招きます。そうならないために、正しい長文の読み方をぜひ身につけてください。<高2以上、高1可>

<申込方法> 以下の必要事項を全て記入し、メールにてお申し込みください。

A. 現在リンガ・ランゲージ・スタジオに在籍の方

(1) 受講生氏名 (2) 在籍レベル

B. 在籍者以外の方

(1) 受講生氏名 (2) 学年 (3) 所属学校名
(4) 現住所 (5) 電話番号 (6) 連絡用メールアドレス

申込メールアドレス：info-tokyo@lingua-ls.com